

次号課題 「篤志」

今月の課題は論語の子張編の「博学而篤志、切問而近思 仁在其中矣」から転借した「篤志」とする。

訓読は「博く学びて篤く志し、切に問いて近くを思う。仁は其中に在り」で、意味は「学問を幅広く学びさらにその道を実行する志を持ち、疑問を深く追求し、身近な問題についてしっかりと考察すれば、仁の徳は自ずからその過程で体得されるであろう」といったところか。

ちなみに「あつい」を表す漢字には「厚」と「篤」があるが、「厚」は物の奥行などが分厚いことを表し、反対語は「薄」で、「篤」はしつかり固まって純一のことであり、分厚いという意はない。

参考作品



優秀作品



塚本青娥



富尾秀玉

曲直の線に雅味があり、腐食も美しい。

線のサビに趣がある。



藤田秋風



松下文宣

余白が効果的で小印ながら大きく見える。

朴訥として好感が持てる作。

- 出品資格…特に制限なし。
- 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由。楕円・長方形等も可）。
- 印影を白の半紙1／4に押印し、右側に条幅出品券を貼付。
- 課題文字以外の随意作品も出品可。消しゴム印も可。